

福祉 ユーカリが丘

ユーカリが丘地区社会福祉協議会
 発行人 会長 平野協治
 編集 広報事業部
 〒285-0843 千葉県佐倉市中志津2-32-4
 西部地域福祉センター内
 電話：043-460-1781 FAX：043-463-4169
 事務局員勤務：火・水・金の13時～17時
<http://yukari-shakyo.jp/>

『第1回ふくしまつり開催』

今年も恒例の「ふくしまつり」が11月30日（土）志津コミュニティセンターで開催されました。昨年までは志津地区社会福祉協議会との合同開催でしたが、今回から当地区社協単独での第1回開催となりました。

まずは、住民の皆さんからバザーの献品を多数いただきありがとうございました。

住民参加型の「ふくしまつり」を目標に、模擬店・出店を自治会・商店・学校・福祉施設等に、舞台でのアトラクションを地域の学校・団体に、ロビーでは小学生絵画の展示など、また、井野中学校の生徒さんがボランティアで多数参加してくださり会場が活気づいていました。

当日は第1回にふさわしい好天に恵まれ多数の来場者をお迎えして、模擬店は早々に売り切れ状態になる程の盛況でした。おまつりに快くご協力をして頂いた皆様に感謝いたします。ありがとうございました。
 ユーカリが丘地区社会福祉協議会会長 平野協治



光の子保育園



アトラクションの様子

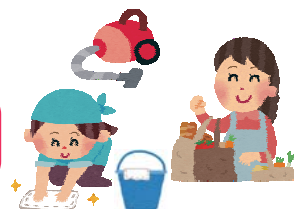
青菅小コーラス

- 2面：第3ブロック「ふれあい昼食会」／お話フェスティバル／志津4地区社協歳末施設訪問
- 3面：おめでとうございます／第2ブロックの住民福祉懇談会開催／“防災フォーラム2014”開催
- 4・5面：東北復興応援バス旅行
- 6面：地域福祉総合研修に参加して／ゲーム感覚で楽しめた災害図上訓練
- 7面：まちの話題（地域で頑張っているパトロール隊を紹介し「NPO クライネスサービス」／各学校で芸術を鑑賞（井野小学校／志津小学校）

ユーカリが丘地区社会福祉協議会 スマイルサービス

有償ボランティア募集!!
 （協力会員）

あなたの空いている時間を
 地域の困っている方々のために
 有効活用してみませんか?



利用会員・賛助会員も
 随時募集してます

通院や外出、買い物の付き添い
 お部屋の片付けなど
 その他ご相談に応じます
 お困りの際はスマイルサービスに
 ぜひお電話ください!!



会員登録・お問い合わせはスマイルサービスセンターへ

〒285-0857 佐倉市宮ノ台1-18-2

TEL 043-312-4073 FAX 043-312-4074

月・木 14:00 ~ 16:00 左記以外の時間帯は留守番電話またはFAXで承ります



第3ブロック「ふれあい昼食会」

前日の雨天がうそのような快晴になり、11月8日（金）に第3ブロックの「九十九里海岸と海の幸の昼食会」の参加者総勢29名が、宮ノ台ローソンから定刻に出発、11時ころに「サンライズ九十九里」に到着しました。

昼食時間まで、海岸に出掛けたり、売店でお土産や地元の新鮮な野菜を買ったりと過ごし、食は全員で海の幸の入った「幕の内弁当」に舌鼓をうち、ゆつくりと時を過ごしました。

帰路は、道の駅「オライはすぬま」により、買い物やソフトラームなどを味わい、最後は「酒々井アウトレット」でトイレ休憩をとり、16時過ぎに、無事地元に戻り、天気のように晴れ晴れした気分で皆さん帰宅されました。

温かな拍手を励みに

お話フェスティバル

平成25年12月8日（土） 志津コミュニティセンター

当日は晴天にも恵まれ、たくさんのお客様にお越しいただきました。温かな拍手を励みに、4つの団体各々も熱演。劇団井野子の赤ずきんではオオカミのその迫力ある登場でビクツとし、内郷小PTA図書委員会のお母様に感動。青菅小PTA図書委員会のお母様達のリードで、初めての手話ダンスも楽しく体験し、絵本と音楽のマーブリングの舞台二杯に広がる紙芝居と生演奏の素敵な音楽。約2時間の舞台は、司会の田倉さんによる合間の手遊びも観客をあきさせず、ずっと楽しいお話の世界にいる気持ちにさせてくれました。

交流事業部長 山本美穂



志津4地区社協歳末施設訪問

志津4地区社協（志津・志津南・西志津・ユーカリが丘）では毎年12月に合同の施設訪問を行っています。

訪問先は各地区社協エリア内、および、近隣の特別養護老人ホームや介護老人保健施設、グループホーム、障がい者施設など10か所。訪問は各地区社協から2名程度で、慰問品のタオルを持参します。館内を案内していただいた後に、現場の生の話を伺ったり、施設で行われるイベントに参加することもあります。伺うたびに思うことは施設の職員の方々の献身的な仕事ぶりです。皆さんとても明るい笑顔で利用者さんに接し、声掛けを

また、囲碁や将棋の相手、古紙の回収作業など様々なボランティアさんを募集しているそうで、詳しいことは佐倉市ボランティアセンター043（484）6198に聞けば教えてくれるそうです。

【ユーカリが丘地域内にある相談機関の連絡先】

*高齢者に関する相談

佐倉市志津北部地域包括支援センター：

043-462-9531

*障がい児者に関する相談

地域生活支援センターレインボー：

043-463-1128



施設職員の楽しいパフォーマンス



おめでとうございます

平成25年12月7日(土) 志津コミュニティセンター
佐倉市社会福祉協議会主催の、平成25年度福祉功
労者表彰式と、講演会(テーマ・成年後見制度と市民
後見人の役割)が開催されました。

ユーカリが丘地区社協の福祉委員や地域から、左記の
方・団体が表彰されました。おめでとございませう。
(五十音順敬称略)

◆会長表彰 *石崎弘 *高橋恒雄 *高柳要

*中瀬和子 *平野協治

◆会長感謝状 山万グループ(山万株、ワイ・エム・

メンテナンス株)、山万ウイシュトンホテル株、光陽株、

アクア・ユーカリ株)、社会福祉法人ユーカリ優都会)

社会福祉大会の後半では、公益財団法人さわやか福
祉財団の堀田力理事長をお迎えし、「成年後見制度と
市民後見人の役割」と題して講演が行われました。

成年後見制度とは、脳の病気等で判断能力が十分で
ない方々の判断力を補って普通の暮らしをしていただく
ための制度であること、これからは障がい者も認知症高
齢者も他の人と同じように普通に暮らせる、皆が



講師の堀田力氏



それを望み喜ぶ社会を目指さなければならぬこと、皆
が能力を認め合い活かすことの大切さ、そして成年
後見人の役割は本人を守ることだけではなく本人の能
力を活かし、やりたい事が出来るように支える点にある
ことなどについて、具体的な事例を交えて分かり易くお
話いただきました。

また、成年後見人の数が絶対的に少なく、多くの市
民が市民後見人として活動することが期待されていると
のことです。現在、佐倉市では市民後見人の養成が行
われており、今後のその活用と活躍が期待されること
です。

第2ブロックの住民福祉懇談会開催

平成26年2月2日(日) 志津コミュニティセンター

「子育て世代の支援」をテーマに地域内の井野中学校
や井野小学校・小竹小学校のPTA会長、ユーカリス
カイプラザの子どもの会会長、ママメイト、YMメンテ
ナンス子育て支援事業部の方等々のご招待者及び福祉
委員も含めて40名以上の参加で、何が求められ、私た
ちに何が出来来るかにつき、当ブロックでは初めてのテー
マでしたが率直な懇談が行えました。現在子育て中のお
母さんも「子育て中の母親代表」として赤ちゃんといっ
ちにお出いただき大きな感動を呼びました。

和やかで、率直な懇談の中、先ず何よりも暖かな「声
かけ運動」でお母さんとお子さんを
支援する、孤立させない事の大切さ
が改めて話題となりました。

私たちは先ずそこから支援の輪を
始めて行きたいと思えます。



防災フォーラム2014開催

平成26年2月23日(日) 志津コミュニティセンター

当日は180名の参加者を迎えて、主催ユーカリ
タウンネットワーク・ユーカリが丘地区自治会協議会・
ユーカリが丘地区社会福祉協議会、協賛ユーカリが丘
商店連合会・NPOクライネスサービス・山万グルー
プで開催されました。

元日本航空機長「小林宏之氏」を講師に迎え「危
機管理と健康管理」について、休憩時間なしで2時
間の講演でした。

○普段は当たり前と思って電気・ガス・水道等を使っ
ていますが、供給が突然止まってしまうたら・・・
○毎日、起きて・食事して・生活して・寝ていますが、
身体に不都合が発生したら・・・

このようなことを考えたことが、有りますか。「災
害」も「健康」も同じ事象で、これが「危機管理」です。
相手の気持ち(立場)になって、目を見て・話して・
聴いて・確認することが、社会・家庭に必要かも。
沢山の資料を基に、解説して頂き来場者も熱心に
聞き入り、有意義なフォーラムでした。

放送(予定)のお知らせ

平成26年4月8日(15日の18時~20時、
CATV296スペシャルで放送される予定です



講師の小林宏之氏



起震車で地震体験を



石巻 門脇小学校前の献花台



女川港の倒壊ビル「女川サブリメント」。最近解体が始まったとの報道もあります。

女川 蒲鉾本舗高政
「まげねーど宮城!おだづなよ津波!」とお土産を買い。

東日本大震災から今年の3月11日で3年を迎えますが復興への道はあまりに遠く、まだまだ支援が必要であることはユース等でも伝えられています。

ユーカリが丘地区社協では、ボランティア活動はできなくても宮城県内の被災地を訪問し、厳しい復興の現状を自分の目で見て、実際に被災された方のお話を聞き、飲食や買い物で復旧、復興のお役に立てればと「東北復興応援旅行」を企画しました。

バス代の一部を地区社協より補助し、その他は実費負担での参加でした。

「読売巨人」の悔し涙か、「東北楽天」の優勝嬉し涙か、出発時には小雨模様でしたが、東北に向かうにつれて回復に向かい松島到着時は絶好の旅行日和になりました。

ツアー主旨に賛同の福祉委員・地域の方々総勢47名の参加がありました。

バス会社も主旨を理解して頂き、幹事の計らいで震災発生3カ月後から「ツアー」を30回以上案内してきた、ベテランのガイドが同乗してくれ、当時の被災・復興状況も詳しく、説明にも熱が入り、感極まつて時折涙声にもなってしまう場面も……。

また、現地の水産会社の女子職員も同乗してくれ、発生当時の津波状況も説明して頂きなお二層復興の現状が理解出来ました。

復興お手伝いは出来ませんでした、参加者全員お土産を沢山購入し、少しばかりでしたが現地の消費に役立ったのでは……。

一日も早い復興と、ご健康を祈念した応援旅行でした。

東北復興応援バス旅行

平成25年11月4日～5日 松島・石巻・女川地区



女川では、津波を経験された現地の方に当日の状況などを説明して頂きました。



松島 瑞巖寺



石巻 日和大橋付近。復興はまだまだ



参道の中程に津波到達の標識があります。



震災前は女川港にあった「マリンパル女川おさかな市場」今は国道398号沿いで営業中でした。皆さん、美味しいそうな魚介類を沢山買い込んでいました。



2日目の朝 ホテルの前に全員集合!

主催：佐倉市社会福祉協議会

地域福祉総合研修に参加して

平成26年2月1日（土） ウィシントンホテル・ユウカリ

生活保護受給者が増える中、困窮者の生活全般を見直し自立に結びつけようと始まったのが生活困窮者自立支援法で、平成27年実施に向け昨年10月から、全国で68の自治体がモデル事業を始めた。佐倉市もその中の1つで、就労支援に実績がある『生活クラブ風の村』や『就職するなら明朗塾（障がい者就労）』・『佐倉市社会福祉協議会』がタッグを組んで動き出した。

2月1日、『生活困窮者自立促進支援モデル事業と佐倉の地域福祉』をテーマに、毎日新聞の論説委員である野沢和弘氏と、佐倉市社会福祉部主幹の川根紀夫氏を講師に招き、基調講演と対談が開催された。午後からは3つの分科会（地域で考える子どもの貧困・生活保護と地域福祉活動・さまざまな困りごとを抱えた人たちを支える小地域福祉）に分かれて話し合われた。

午前の基調講演と対談では、北海道にある『べてるの家』の様子や、認知症の人たちが地域の子どもたちと触れ合い喜んでいる話し等を聞いた。就労や社会参加の大切さ必要さ、また、その人が出来ることを積極的に考えていく必要性を改めて考えさせられた。

※困りごと相談の連絡先…

043（484）6200

(佐倉市社会福祉協議会

地域福祉推進グループ生活支援班)



対談の様子(メモをとったり、真剣に聞いていました)

午後の分科会では「さまざまな困りごとを抱えた人たちを支える小地域福祉」に参加。仕事を失い地域から孤立し、同居の弟とのコミュニケーションも上手くとれず困っていた知的障がいを持つ、Kちゃんを助けた体験談を聞いた。Kちゃんの困りごとに気付き、一人で問題を抱えずいろいろな人に相談し、地域で助け合い問題解決に取り組む姿はとても素晴らしいと感じた。

また、小地域だけでなく行政にも力を借りて問題解決にあたったことは、これからのKちゃんを支えるためにも大切な事だと思う。

私たちの周りにもさまざまな困りごとを抱えている人はいるだろう。その時は、さまざまな人の知恵と力を借りて問題解決が出来たらと思った。

主催：佐倉市ボランティアセンター

ゲーム感覚で楽しめた災害図上訓練

平成26年2月16日（日） 西部地域福祉センター

顔の見える活動で災害に強い地域づくり～災害の支え合い～をテーマに、災害ボランティア研修会が行われた。午前中が講演、午後は災害図上訓練（DIG）、講師は国立大学法人北海道教育大学の佐々木貴子教授だった。

東日本大震災の反省を踏まえて平成24年に改正された防災基本計画では自分の生命と財産は自分で守り、さらに地域防災力の向上を図ることを国民二人



※当日使用された佐々木先生の資料は佐倉市ボランティアセンターにあり、誰でも資料請求が出来るそうです。
佐倉市ボランティアセンター：043-484-6198

ひとりに求める自助共助の活動が求められるようになった。

私たちが災害に見舞われたときや被災地のまちづくりを支えるために、ボランティア活動や地域活動を通して何をしたらよいかを学んだ。先生は阪神・淡路大震災と東日本大震災の現場を歩き多くの被災者から聞き取りをされており、釜石の奇跡で有名な釜石東中学校生の防災、減災のために①普段のことを真剣に行うこと、②大人を信じ、お年寄りの意見を大事にする、③語り継ぐことの大切さという3つの教訓が紹介された。

災害図上訓練（DIG）は災害が発生した時、自分がどのように行動したら良いかを考えるグループ別訓練プログラムで、ゲーム感覚で楽しく参加した。

備蓄食料のアルファ米よりも安く、しかも家庭で備蓄しやすい、無洗米と高密度ポリエチレンを使ったハイゼックス米の試食も行った。会場の都合上70余名の参加だったが、防災・減災意識を深めるために、もっと幅広い人たちに聞いてほしい内容だった。

まちの話題

地域で頑張っている

パトロール隊を紹介します

今年で14年目を迎えた!!

「NPOクライネスサービス」

「自分達のまちは、自分達で守ろう!」と発足したクライネスサービスは、今年で14年目を迎えました。活動範囲はユーカリが丘並びに近隣地域で、主な活動として防犯活動・環境美化活動・福祉活動を展開しております

防犯活動では、毎週下校時のスクールガード、空き巣発生が多い夕方のパトロール、隔週には夜間パトロールを実施しています。大小2台のパトロールカーを活用し、車と徒歩によるきめ細やかな防犯パトロールを行っています。

環境美化活動では犯罪を寄せ付けない綺麗な

ユーカリが丘地域を目指し、月2回ユーカリが丘駅を中心に4方向の清掃活動と年間

1400鉢あ

まりの花苗の

植栽をユーカ

リが丘駅北口

デッキ、南ユ

ーカリが丘、

交番前等で行

つています。

福祉活動で

は、福祉イベ

ント等の警備

活動に加え

「赤い羽根募金」「歳末たすけあい募金」

を実施。また「自主防犯団体情報交換会」「合

同パトロール」、ユーカリが丘地区社協主催の

「クリーン大作戦」への協力を通して地域と密

着した活動を心掛けています。

1月1日～15日の間、CATV296の

「縁の下のNPO!熱血地球人」でクライネス

サービスの活動の様子が放映されました。多

くの方にクライネスサービスを知っていただき、

これが新会員の加入に繋がればと願っていま

す。

歩くのは健康にもよく、多くの親睦行事も

あり、楽しい仲間作りも進んでいます。多く

の方の加入をお待ちしています。

また2月23日にはコープみらい千葉県本部

より「地域かがやき賞」を受賞しました。地

域のボランティアとしての活動を評価いただい

たことを誇りに、「層活発な活動を継続して

いきたいと思っています。

連絡先はNPOクライネスサービス本部まで

住所…佐倉市宮ノ台3-2-12

電話…043(463) 1337

※平日は13時～17時の間は事務局員が

在席しています。



各学校で芸術を鑑賞

P.T.Aが主催して、毎年それぞれの学校で芸術鑑賞会を開催しています。今号では11月と12月に開催された井野小学校・志津小学校を紹介します。

井野小学校の芸術鑑賞会

平成25年11月20日(水)

今年度、井野小学校の芸術鑑賞会は、劇団「夢団」によるスーパージョー「オズの魔法使い」でした。

この夢団は神奈川県横浜市を拠点に、小中学校を中心に年間100公演を行い、全国の子ども達へ「夢を持つことの大切さ、夢を魅了することの素晴らしさ」を伝え続けています。

本校では久々の本格的演劇、それもミュージカルだったので子ども達の期待も開演前には最高潮に達していました。そして、会場が暗転し音楽の始まりとともに、スポットライトに照らされた

出演者が出てくると、もう子ども達はステージに釘づけです。次々と出てくる出演者の歌とダンスの迫力は、子ども達を圧倒し続けました。

あつという間に終演を迎えた、というのが正直な印象でした。



アクションとアクロバット

時代劇『忍者サスケ』

平成25年12月10日(火)、志津小学校体育館に於いて芸術鑑賞会を開催しました。

今回はアクロバット★カンパニー 飛天による『忍者サスケ』。忍者界を舞台に本格的なアクションとアクロバットを取り入れた時代劇を、全校児童と約80名の保護者や地域の方々と共に堪能しました。

子ども達は忍者が披露する忍術や妖術、舞台上に留まらない立ち回りやアクション、アクロバティックな空中戦に、大きな歓声と声援を送っていました。

志津小学校では毎年P.T.Aバ

ザーを行

い、その

収益金で

子ども達

に様々な

芸術鑑賞

会を開催

しています。



歳末たすけあい街頭募金 ご協力ありがとうございました



平成 25 年 12 月 2 日 (月)

ユーカリが丘駅改札口およびイオンユーカリが丘店 2 階北口付近にて歳末たすけあい募金を行いました。

当日は、小学生や高校生も含む 52 名にて、新調されたタスキを肩に掛け活動を実施。

風船や葉を用意した事で小さいお子様からご年配の方まで、多くの方々から募金を頂く事ができました。

北風の吹く中、元気な声で募金を呼びかけ、短時間で 38,024 円の募金を頂きました。

多くの方々のご協力とご支援を賜り誠にありがとうございました。

ボランティア事業部長 大瀧誠

今後のご案内

第32回ミニボランティアのつどい

(主催：佐倉市ボランティア連絡協議会)

日 時：平成26年3月30日(日) 13時30分～17時

会 場：西部地域福祉センター

参加費：無料

内 容：リレートークや疑似体験 (予定)

※高齢者疑似体験をユーカリが丘地区社協が担当しますので、多くの来場をお待ちしています。

ご寄付をいただきありがとうございました

*上座15日会様 6,000円

*ひだまりファミリー歯科医院様 10,000円

*匿名 5,000円

誠にありがとうございます。



編集後記

2月に記録的な大雪に見舞われた首都圏、佐倉市も例外ではなく、交通マヒで身動きが取れない状況でした。子どもたちには雪合戦をしたり雪だるまやプチャまくらを造ったりで、『雪は天からの素敵なプレゼント』かも知れませんが、私同様、老骨に鞭打って雪かきに精を出された方も多かったと思います。これから『三寒四温』を繰り返しながら気候も段々春めいて行きますが、季節の変わり目に体調を崩さないよう健康に留意してください。

《いきいきサロン活動予定》

開催場所	開催日時	4月	5月	6月	7月
志津コミュニティセンター	第1金曜日 10:00～15:00	4	2	6	4
宮ノ台自治会館	第3金曜日 10:00～15:00	18	16	20	18

問い合わせ先 事務局043-460-1781

●対象者：概ね 75 歳以上で自分で身の回りの事ができる方はどなたでも参加できますのでいらしてください

●開催時間：午前 10 時から午後 3 時まで開催
(午前の部だけ、午後の部だけの参加も可)

●参加費：100 円…お茶・お菓子代
(ただし、お昼のお弁当は別途 600 円：注文は 10 時に取ります)

《歌声喫茶「カフェ・ユーカリ」の開催予定》

開催場所	開催日時	4月	5月	6月	7月
志津コミュニティセンター	第3土曜日 14:00～16:00	19	17	21	19

問い合わせ先 事務局043-460-1781

《100円喫茶 4月からの開催予定》

開催場所	開催日時	4月	5月	6月	7月
かがやき喫茶 ユーカリが丘第1集会所	第4火曜日 13:30～15:30	22	27	24	22
ほほえみ喫茶 宮ノ台自治会館	第4火曜日 13:30～15:30	22	27	24	お休み
わいわい喫茶 ユーカリ産産自治会館	第4土曜日 13:30～15:30	26	24	28	26
ふれあいサロン ユーカリが丘五番町ハイツ集会所	第3金曜日 10:00～12:00	18	16	20	18
さわやかプラザ ユーカリが丘第2集会所	第2金曜日 13:30～15:30	11	9	13	11
みんなの広場 志津コミュニティセンター	第3水曜日 13:30～15:30	16	21	18	16
先崎ふれあいサロン 先崎自治会館	第4日曜日 13:30～15:30	27	25	15 (第3日)	27
花のさと 野会館	第2水曜日 13:00～15:00	9	14	11	9

問い合わせ先 事務局043-460-1781

** 100円喫茶からのお知らせ **

上座集会所で開催されていましたが、平成26年3月で閉めることになりました。

今まで、多くの方にいらしていただき誠にありがとうございました。



いきいきサロンや100円喫茶ではボランティアを募集しています。お茶やお菓子の準備・片付けなど簡単なお手伝いです。詳しいことは事務局まで